

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-118185  
(43)Date of publication of application : 28.04.1994

(51)Int.Cl.

G04G 15/00  
G11B 15/02  
H04N 5/782

(21)Application number : 04-282148

(71)Applicant : NIKKA DENSOKU KK

(22)Date of filing : 08.09.1992

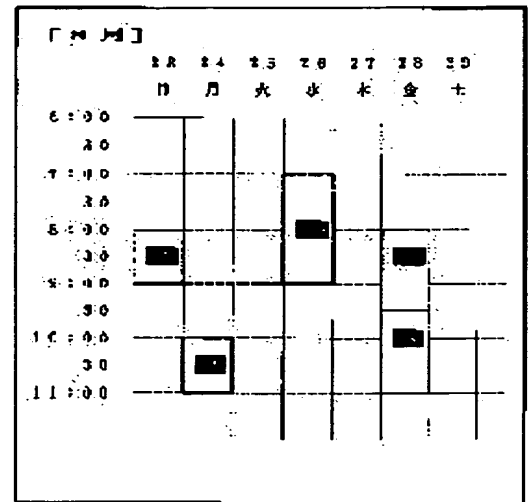
(72)Inventor : HAMADA RYOICHI

## (54) RECORDING RESERVATION METHOD FOR TV PROGRAM

### (57)Abstract:

**PURPOSE:** To display the content to be recorded on a TV receiver and perform recording reservation operations according to the displayed content.

**CONSTITUTION:** On a TV screen, a plurality of date columns are arranged along the upper side and a plurality of time columns, along the left side in matrix. On the coordinate specified with those date and time columns, picture recording regions are formed. By specifying the desired recording regions and registering the reservation of a desired TV station channel in the recording regions, the registration is indicated on the specified recording region. TV programs are recorded, in this reservation method, according to the date, time and channel in the recording region indicated as registration completed.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-118185

(43)公開日 平成6年(1994)4月28日

(51)Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 4 G 15/00	C	7809-2F		
	E	7809-2F		
G 1 1 B 15/02	3 2 8 S	8022-5D		
H 0 4 N 5/782	Z	7916-5C		

審査請求 未請求 請求項の数8(全 6 頁)

(21)出願番号 特願平4-282148

(22)出願日 平成4年(1992)9月8日

(71)出願人 000110952

ニッカ電測株式会社

東京都板橋区前野町2丁目14番2号

(72)発明者 浜田 良一

東京都板橋区前野町2丁目14番2号 ニッ  
カ電測株式会社内

(54)【発明の名称】 テレビ番組の録画予約方法

(57)【要約】

【目的】 テレビ受像機に、録画予約すべき内容を表示し、この表示の内容にそって録画予約操作を行うことを目的とする。

【構成】 テレビ画面に、その上辺に沿って複数の日付欄が、左辺に沿って複数の時刻欄が相互にマトリクス状に配列され、これらの日付欄と時刻欄にて特定される座標上に録画領域が形成されている。そして、所望の録画領域を指定して所望のテレビ放送チャンネルを録画領域に予約登録することによって、指定された録画領域に登録表示がなされ、この既登録表示のなされた録画領域の日付、時刻およびチャンネルに従って録画するテレビ番組の録画予約方法である。

〔 8 月 〕

	2 3	2 4	2 5	2 6	2 7	2 8	2 9
	日	月	火	水	木	金	土
6 : 0 0							
3 0							
7 : 0 0							
3 0							
8 : 0 0							
3 0							
9 : 0 0							
3 0							
1 0 : 0 0							
3 0							
1 1 : 0 0							

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 放映が予定されている所望のテレビ番組の内容を、ビデオレコーダに録画予約する方法において、

テレビ受像機の画面に、当該画面の一辺に沿って複数の日付欄が、他辺に沿って複数の時刻欄が相互にマトリクス状に配列され、当該日付欄と時刻欄にて特定される座標上に録画領域が形成されており、所望の録画領域を指定して所望のテレビ放送チャンネルを登録手段に予約登録することによって、指定された録画領域に既登録表示がなされ、当該既登録表示のなされた録画領域の日付、時刻およびチャンネルに従って録画することを特徴とするテレビ番組の録画予約方法。

【請求項2】 録画領域には既登録のチャンネル数が表示される請求項1記載テレビ番組の録画予約方法。

【請求項3】 テレビ受像機の画面に、当該画面の水平方向に沿って複数の日付欄が表示され、垂直方向に沿って複数の時刻欄が表示される請求項1もしくは請求項2記載のテレビ番組の録画予約方法

【請求項4】 既登録表示がされた録画領域は、他の録画領域と色彩若しくは輝度が異なって表示される請求項1ないし請求項3記載のいずれかに記載のテレビ番組の録画予約方法

【請求項5】 日付欄および時刻欄の表示は、夫々の方向にスクロールする請求項1ないし請求項4のいずれかに記載のテレビ番組の録画予約方法

【請求項6】 放映が予定されている所望のテレビ番組の内容を、ビデオレコーダに録画予約する方法において、

テレビ受像機の画面に、少なくとも予約登録する日付、時刻およびテレビ放送チャンネルについての質問欄と当該質問に応答する応答欄が表示されており、前記質問に対する応答内容が、テレビ受像機の画面に表示されると共に登録手段に予約登録され、登録された日付、時刻およびチャンネルに従って録画することを特徴とするテレビ番組の録画予約方法。

【請求項7】 質問欄を表示する以前に、既登録の日付、時刻およびチャンネルが表示される請求項6記載のテレビ番組の録画予約方法。

【請求項8】 質問と応答は対話形式で表示される請求項6もしくは請求項7記載のテレビ番組の録画予約方法。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、放映が予定されているテレビ番組の内容を、ビデオテープレコーダ等の映像音声記録手段に録画予約する方法に関し、特にテレビ受像機の画面に予約内容を表示させ当該表示内容に従って録画することを特徴とするものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来周知のテレビ番組の録画予約方法（装置）では、例えばビデオテープレコーダ本体やリモートコントロール装置に設けられているテレビ放送チャンネル選択スイッチ、日付選択スイッチ、録画開始時刻選択スイッチ、録画終了時刻選択スイッチ、モード選択スイッチ等の多数のスイッチが設けられており、録画予約をするための操作は極めて煩雑であった。

【0003】録画予約の操作が極めて煩雑であるが故に、せっかく録画予約機能を有するビデオテープレコーダを所持していても充分活用されず、また録画予約の操作を誤り、所望のテレビ番組の録画ができず失望することも頻発していた。

【0004】そこで、新聞等のテレビ番組欄の各番組毎にバーコードが付与され、バーコード読取機で録画予約する装置や、各番組毎に付与されているコード番号をテンキーにて入力して録画予約する装置が出現している。

## 【0005】

【発明が解決しようとする課題】前述のように、従来では録画予約の操作が極めて煩雑であるが故に、録画予約機能が充分活用されず、また録画予約の操作を誤り、所望のテレビ番組の録画ができず失望することも頻発していた。

【0006】また、テレビ番組毎にバーコードやコード番号が付与されたものはごく一部の新聞等であり、本体側にバーコード読取機を必要とするので普遍的ではない。

【0007】本発明はかかる従来の課題に鑑みてなされたもので、特殊な装置や新聞を必要とせず、録画予約の操作が誰にでも容易に且つ誤りなくできる方法を実現せんとするものである。

## 【0008】

【課題を解決するための手段】第1の主要な発明は、放映が予定されている所望のテレビ番組の内容を、ビデオテープレコーダに録画予約する方法において、テレビ受像機の画面に、当該画面の一辺に沿って複数の日付欄が、他辺に沿って複数の時刻欄が相互にマトリクス状に配列され、当該日付欄と時刻欄にて特定される座標上に録画領域が形成されており、所望の録画領域を指定して所望のテレビ放送チャンネルを登録手段に予約登録することによって、指定された録画領域に既登録表示がなされ、当該既登録表示のなされた録画領域の日付、時刻およびチャンネルに従って録画することを特徴とするものである。

【0009】第2の主要な発明は、放映が予定されている所望のテレビ番組の内容を、ビデオテープレコーダに録画予約する方法において、テレビ受像機の画面に、少なくとも予約登録する日付、時刻およびテレビ放送チャンネルについての質問欄と当該質問に回答する応答欄が表示されており、前記質問に対する回答内容が、テレビ受像機の画面に表示されると共に登録手段に予約登録さ

れ、登録された日付、時刻およびチャンネルに従って録画することを特徴とするものである。

【0010】

【作用】第1の主要な発明は、テレビ受像機の画面に、当該画面の一辺に沿って複数の日付欄が、他辺に沿って複数の時刻欄が相互にマトリクス状に配列され、当該日付欄と時刻欄にて特定される座標上に録画領域が形成されており、所望の録画領域を指定して所望のテレビ放送チャンネルを登録手段に予約登録することによって、指定された録画領域に既登録表示がなされ、当該既登録表示のなされた録画領域の日付、時刻およびチャンネルに従って録画するように構成されているので、先ず録画をしようとする日を日付欄から選択し次いで当該日の録画開始時刻と録画終了時刻を時刻欄から選択することによって特定される録画領域（所望の録画時間帯）を指定し、その後前記録画領域に録画されるチャンネルを選択登録すると、前記録画領域に対応する日時が到来した際に、当該時間帯だけ所望のチャンネルのテレビ放送が録画される。なお、録画予定の日付、時刻およびチャンネルの選択順序は順不同である。

【0011】第2の主要な発明は、テレビ受像機の画面に、少なくとも予約登録する日付、時刻およびテレビ放送チャンネルについての質問欄と当該質問に回答する応答欄が表示されており、前記質問に対する応答内容が、テレビ受像機の画面に表示されると共に登録手段に予約登録され、登録された日付、時刻およびチャンネルに従って録画するように構成されているので、先ず録画をしようとする日の質問に対する応答欄に所望の日付けを表示すると共に登録し、次いで録画をしようとする時刻の質問に対する応答欄に所望の録画開始時刻と録画終了時刻を表示すると共に登録し、その後録画をしようとするチャンネルの質問に対する応答欄に所望のチャンネルを表示すると共に登録すると、表示され登録された日時が到来した際に、当該時間帯だけ所望のチャンネルのテレビ放送が録画される。なお、録画予定の日付、時刻およびチャンネルの表示等の順序は順不同である。

【0012】

【実施例】図1は本発明を具現化するためのテレビ受像機、ビデオテープレコーダおよびコントローラを示す斜視図であり、図2は制御ブロック図、図3は第1の実施例のテレビ画面の正面図である。

【0013】図1において、1は周知のテレビ受像機で、2は周知のビデオテープレコーダである。3はビデオテープレコーダ2のリモートコントローラである。前記リモートコントローラ3には、ビデオテープレコーダ2の一般的な操作パネル3Aと本発明特有の操作パネル3Bが備えられている。そして、テレビ受像機1とビデオテープレコーダ2との間には、映像信号等を送信するためのケーブル4が接続されている。なお、テレビ受像機1とビデオテープレコーダ2は一体的に構成されてい

てもよい。

【0014】制御部にはマイクロコンピュータ（MPU）、各種の記憶装置（ROM、RAM）および、文字や図形を生成するキャラクタジェネレータが備えられている。また、テープを駆動するためのモータ、アンテナ入力とビデオヘッド入力を切換る切換回路、前記キャラクタジェネレータによって生成された文字や図形を映像信号に変換するミキシング回路および、リモートコントローラ3からの赤外線信号を受信するための赤外線センサが設けられており、バスラインや入出力インターフェイス（I/O）を介して前記マイクロコンピュータ、各種の記憶装置、キャラクタジェネレータに接続されている。

【0015】なお、一般的なビデオテープレコーダ2にはマイクロコンピュータや各種の記憶装置が備えられており、本実施例に必要なハードウェアを構成するためには、従来装置にキャラクタジェネレータとミキシング回路を追加すれば足りる。

【0016】図3は録画予約モードの表示であり、テレビ受像機1の画面（CRT）の上辺沿って、左辺から右辺方向に「23日」から「29日」までの1週間分の日付欄が表示されている。また前記テレビ受像機1の画面（CRT）の左辺に沿って、上辺から下辺方向に「6時」から「11時」までの時刻欄が表示されている。

【0017】即ち日付欄と時刻欄が相互にマトリクス状に配列されることにより、当該日付欄と時刻欄にて特定される座標上に録画領域（例えば、「23日」と「8時、9時」にて「6」と表示された領域）が形成されており、かかる領域をリモートコントローラ3にて指定し、録画しようとする所望のテレビ放送チャンネル

「6」を前記記憶装置（登録手段）に予約登録することによって、指定された録画領域に反転文字で既登録表示「6」がなされる。そうすると、8月23日（日）の8時から9時まで、第6チャンネルのテレビ放送の内容が録画されることになる。

【0018】図3の例では、前述と同様に、8月24日（月）の10時から11時まで第2チャンネル、8月26日（水）の7時から9時まで第10チャンネル、8月28日（金）の8時から9時30分まで第1チャンネル、続いて9時30分から11時まで第8チャンネルが表示され、その表示に従って予約登録されたチャンネルおよび日時のテレビ放送の内容が録画される。

【0019】なお、当該画面は左右方向（日付欄）および上下方向（時刻欄）にスクロールするように構成され、29日以降および11時以降の番組の録画予約も可能となる。

【0020】また、日付欄、時刻欄およびチャンネルの指定は、リモートコントローラ3B上のボタンで直接指定してもよく、テレビ受像機1の画面（CRT）にカーソルを表示させ、このカーソルによって指定するように

構成してもよい。

【0021】さらに、既登録表示がされた録画領域をより一層明確にするため、既登録表示がされた録画領域を、未登録の録画領域と色彩若しくは輝度が異なって表示するように構成することも可能である。さらにまた、日付欄と時刻欄は、縦と横が相互に逆の位置に形成されていてもよい。

【0022】次に、図4に従い第2の実施例について説明する。図4は第2の実施例のテレビ画面の正面図である。

【0023】この実施例では、録画予約をテレビ受像機1の画面(CRT)の表示と対話形式で行うもので、テレビ受像機1の画面(CRT)に、予約登録する日付、時刻およびテレビ放送チャンネルについての質問欄と当該質問に回答する応答欄が表示されており、前記質問に対する応答内容が、テレビ受像機の画面に表示されると共に登録手段に予約登録され、登録された日付、時刻およびチャンネルに従って録画するものである。

【0024】図4の例では、録画予約モードを選択することにより、先ず「今日は8月22日です。変更しますか?」との質問欄と、「いいえ」「はい」との応答欄が表示される。そこで、この例では前記リモートコントローラ3によって「いいえ」を指定することによって「いいえ」が反転表示される。もし「はい」であるなら、変更すべき月日欄が現れ、当該月日欄に現実の月日表示させることになる。

【0025】次に「現在20時40分です。変更しますか?」との質問欄と、「いいえ」「はい」との応答欄が表示される。そこで前述と同様に「いいえ」を指定することによって「いいえ」が反転表示され、「はい」であるなら、変更すべき時刻欄が現れ、当該月日欄に現実の月日表示させることになる。

【0026】次に「何月何日の録画をしますか?」との質問欄と、録画予約をすべき「月日」を示す応答欄が表示される。そこで当該応答欄に「8」と「23」を指定することによって「8」と「23」が反転表示され、同時に前記記憶装置(登録手段)に「8月23日」が予約登録される。

【0027】次に「何時何分から録画をしますか?」との質問欄と、録画を開始すべき「時刻」を示す応答欄が表示される。そこで当該応答欄に「8」と「00」を指定することによって「8」と「00」が反転表示され、同時に前記記憶装置(登録手段)に「8時00分」が予約登録される。

【0028】次に「何時何分まで録画をしますか?」との質問欄と、録画を終了すべき「時刻」を示す応答欄が表示される。そこで当該応答欄に「9」と「00」を指定することによって「9」と「00」が反転表示され、同時に前記記憶装置(登録手段)に「9時00分」が予約登録される。

【0029】次に「どのチャンネルですか?」との質問欄と、録画予約をすべき「チャンネル」を示す応答欄が表示される。そこで当該応答欄に「06」を指定することによって「06」が反転表示され、同時に前記記憶装置(登録手段)に「第6チャンネル」が予約登録される。

【0030】そして、最後に予約内容をチェックするため、確認メッセージとして上記に従って指定した内容である「8月23日8時00分～9時00分 6チャンネル録画予約」が表示される。

【0031】そうすると、8月23日(日)の8時から9時まで、第6チャンネルのテレビ放送の内容が録画されることになる。なお、さらに別の番組を録画予約する場合には、前述の操作作業を繰り返せばよい。

【0032】本実施例の場合も日付、時刻およびチャンネルの指定を、リモートコントローラ3B上のボタンで直接指定してもよく、テレビ受像機1の画面(CRT)にカーソルを表示させ、このカーソルによって指定するように構成してもよい。また、質問欄を表示する以前に、既登録の日付、時刻およびチャンネルが表示されるように構成されていてもよい。

【0033】さらに、上記実施例ではビデオレコーダとしてビデオテープレコーダを使用しているが、映像と音声を記録できるものであれば他の手段を使用することは、もとより可能である。

【0034】

【発明の効果】第1の主要な発明では、先ず録画をしようとする日を日付欄から選択し次いで当該日の録画開始時刻と録画終了時刻を時刻欄から選択することによって特定される録画領域(所望の録画時間帯)を指定し、その後前記録画領域に録画されるチャンネルを選択登録すると、前記録画領域に対応する日時が到来した際に、当該時間帯だけ所望のチャンネルのテレビ放送が録画される。

【0035】従って、操作者はテレビ画面を見ながら極めて容易に所望の録画予約を行うことができるので、録画予約機能を充分活用でき、また録画予約の操作を誤ることもない。さらに、キーの数を減らすことが可能となる。

【0036】また、テレビ番組毎にバーコードやコード番号が付与された新聞等は不要で、本体側にバーコード読取機を設ける必要もなく、装置全体が安価になるとともに普遍的な装置でも充分機能させることができる。

【0037】第2の主要な発明では、先ず録画をしようとする日の質問に対する応答欄に所望の日付けを表示すると共に登録し、次いで録画をしようとする時刻の質問に対する応答欄に所望の録画開始時刻と録画終了時刻を表示すると共に登録し、その後録画をしようとするチャンネルの質問に対する応答欄に所望のチャンネルを表示すると共に登録すると、表示され登録された日時が到来

7

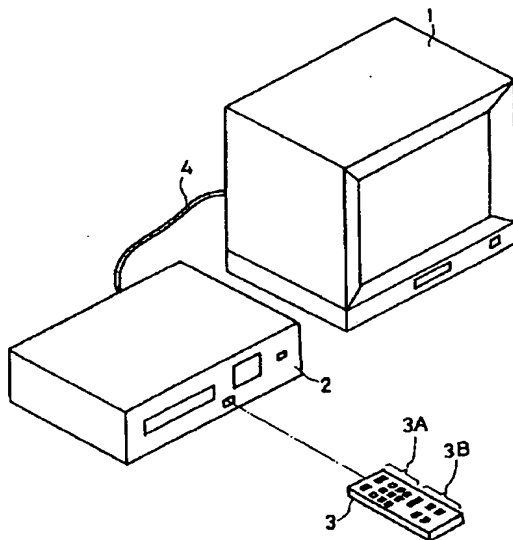
した際に、当該時間帯だけ所望のチャンネルのテレビ放送が録画される。

【0038】従って、前述の第1の実施例の効果を奏するばかりでなく、対話形式で対応できるので、画面が小さく、また若干不鮮明なテレビ受像機を使用しても容易に録画予約をすることが可能となる

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明を具現化するためのテレビ受像機、ビデオテープレコーダおよびコントローラを示す斜視図である。

【図1】



8

\*【図2】図2は制御ブロック図である。

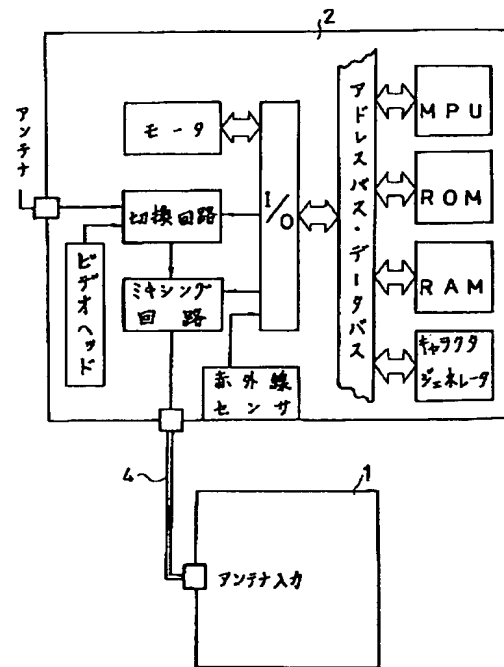
【図3】第1の実施例のテレビ画面の正面図である。

【図4】第2の実施例のテレビ画面の正面図である。

【符号の説明】

- 1 テレビ受像機
- 2 ビデオテープレコーダ
- 3 リモートコントローラ
- 3A 操作パネル
- 3B 操作パネル
- \*10 4 ケーブル

【図2】



【図3】

【8月】

	23	24	25	26	27	28	29
	日	月	火	水	木	金	土
6:00							
30							
7:00							
30							
8:00							
30	録					録	
9:00							
30							
10:00						録	
30							
11:00							

【図4】

・今日は8月22日です。変更しますか？ ☐ はい

・現在20時40分です。変更しますか？ ☐ はい

・何月何日の録画をしますか？  月  日

・何時何分から録画をしますか？  時  分

・何時何分まで録画をしますか？  時  分

・どのチャンネルですか？  チャンネル

確認メッセージ

8月23日 8時00分～9時00分 6チャンネル録画予約